

北見市上下水道中期経営プラン (前期 平成 22 年度～平成 26 年度)

【平成 26 年度取り組み状況】

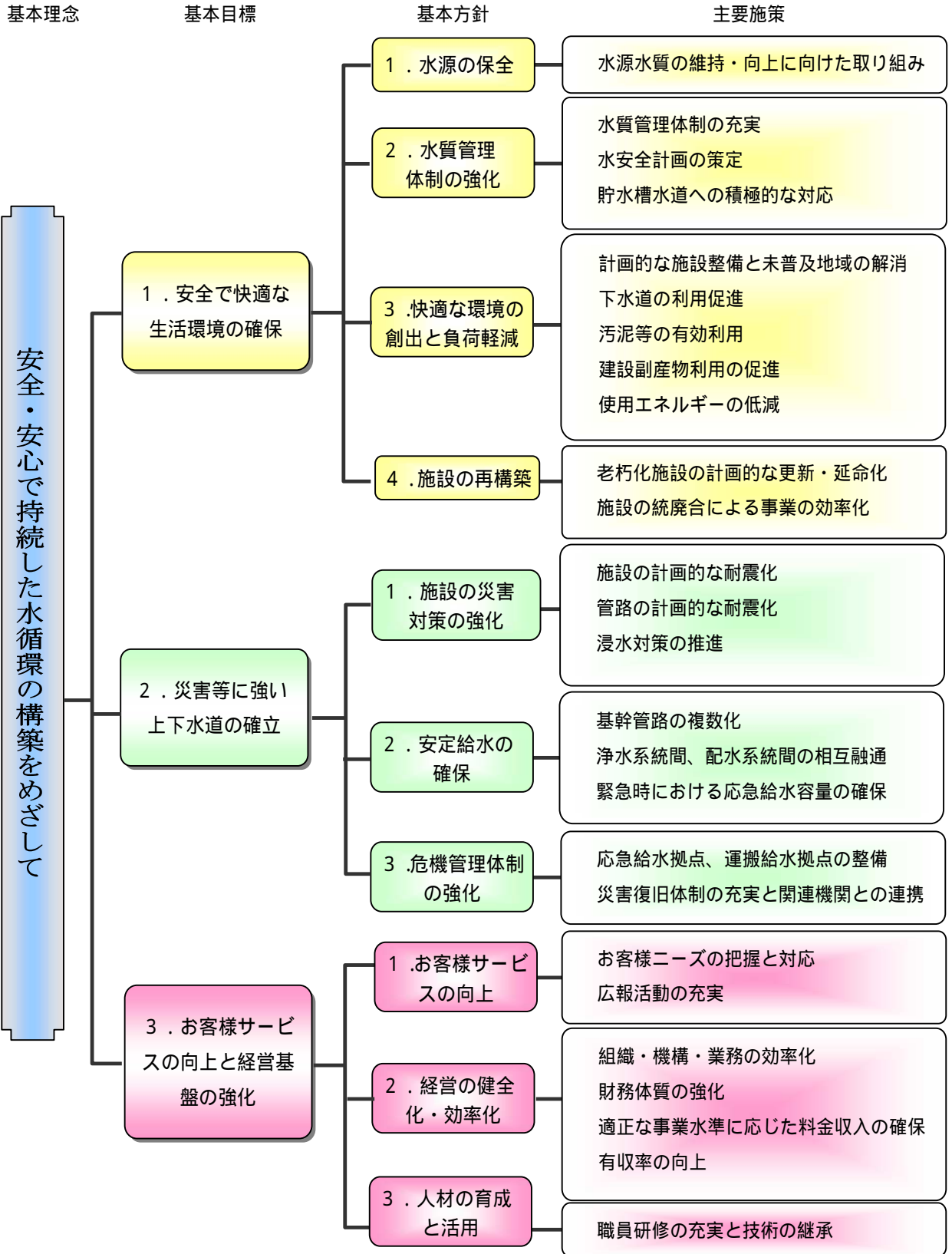
「北見市上下水道中期経営プラン(前期)」は、今後 10 年間の企業局全体の経営戦略として取り組む「北見市上下水道ビジョン(平成 22 年 3 月策定、平成 22～31 年度)」の実現に向けた前期 5 ヶ年の主要施策の実施計画を示しています。

この中期経営プランに基づき実施した平成 26 年度の取り組み状況等を実績報告として取りまとめ、次年度以降の事業の着実な推進に努めます。

目 次

1. 実施計画(体系図).....	1
2. 計画の取り組み状況(平成 26 年度)	
【水道項目】.....	2
【下水道項目】.....	4
【共通項目】.....	5
3. 数値目標一覧.....	6
4. 財政収支見通し.....	7

1. 実施計画 体系図



2. 計画の取り組み状況(平成26年度)

[水道項目]

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)	実績額(百万円)											
安全で快適な生活環境の確保	水源水質の維持・向上に向けた取り組み	水源水質調査、パトロールの継続、関係機関協議会への参加を行い水源水質の維持向上に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 「平成26年度 水質検査計画」に基づく原水水質検査の実施 ・降雨時、融雪時における河川パトロールの実施 ・「常呂川水系清流ルネッサンス」に参加し、水質浄化対策などを関係機関と協議を行った。 ・「常呂川水系環境保全対策協議会」において、水質管理の取組みとして北見市水安全計画の説明を行った。 												
	水質管理体制の充実	毎年度「水道水質検査計画」を策定・実施し、定期的な検査機器の更新を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・「平成26年度 水質検査計画」の策定、実施 ・検査機器の更新 色度計・濁度計 他 	5											
	「水安全計画」の策定	H23までに「水安全計画」を策定し、適宜見直しを行い安定的な水道水の供給に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・全浄水場について策定完了し、運用している。 												
	貯水槽水道への積極的な対応	水質の確保された水道水が供給されるよう、水道事業者として積極的に貯水槽水道設置者とともに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易専用水道設置者には検査についての文書送付、検査実施。 (52/63 検査率 82.5%) ・小規模貯水槽水道設置者について検査の重要性について文書送付。 (対象施設 321件) 												
	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組みます。 数値目標(水道普及率) 水道水を利用している人の割合(給水人口/行政区域内人口)	<ul style="list-style-type: none"> ・未普及地域解消等事業 清見町地区配水管布設工事 75 122.4 m 北進町地区配水管布設工事 75 188.9 m 北光地区配水管布設工事 100～200 108.9 m 豊地地区配水管布設工事外2件 50～400mm 163.4 m ・道営農業農村整備事業負担金(留辺蘂町大和地区) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> <th rowspan="3">温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている</th> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>94.0%</td> <td>94.3%</td> <td>96.5%</td> </tr> </tbody> </table>	実績		目標		温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている	H25	H26	H26	94.0%	94.3%	96.5%	50
	実績		目標		温根湯温泉地区において区域拡張の変更認可を受け、道営事業との合併施行により事業を進めている										
	H25	H26	H26												
	94.0%	94.3%	96.5%												
	汚泥等の有効利用	広郷浄水場においては、H24までに天日乾燥ろ床を整備し、現在産業廃棄物として処分している汚泥の有効利用を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ・広郷浄水場天日乾燥ろ床建設工事 H25～27年度の3ヵ年で、天日乾燥ろ床の工事を実施し、汚泥の有効利用を検討する。 		261										
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト再生合材(50%)の利用 ・水道管浅層埋設による工事期間の短縮、アスファルト廃材等の縮減について、工大との共同研究を実施(H25～H27)し、検討している。 												
使用エネルギーの低減	「環境計画書」作成の検討や使用エネルギーの少ない機器への更新、配水ブロックの見直しを検討し、環境負荷低減に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新天日乾燥ろ床の一部供用開始により自然流下方式での排水が可能になったことから、ポンプに係る動力の低減につながった。 													
老朽化施設の計画的な更新・延命化	「アセットマネジメント」の策定を行います。 導送配水管更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・策定に向け、資料収集・整理を行った。 ・送配水管更新事業 50～400mm 北見 4,174.2 m 端野 m 常呂 256.0 m 留辺蘂 m 計 4,430.2 m 		527											
	広郷浄水系統送配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・広郷浄水系統送配水施設更新事業 中区・高区配水池量水器室設置工事 三輪ポンプ場外構工事等 		127											
	金華取水導水配水施設更新事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・広郷浄水場からの配水への変更を検討する。 													
	吉野取水・導水施設更新事業を検討、実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実施事業は無いが、適切な維持管理により機能を保持 													
	その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞穂地区配水池建設工事等 		68											
	施設の統廃合による事業の効率化	H28までに、1上水道事業への統合するため統合簡易水道事業などを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・温根湯温泉地区統合簡易水道事業 大和地区 道営事業負担金 ・端野町緋牛内地区を協和地区に統合するための調査業務委託 	203											

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H25)			実績額 (百万円)		
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	H25までに重要な基幹施設(広郷浄水場、三輪ポンプ場、日の出沈砂池)については耐震化工事を実施します。 数値目標(浄水場耐震化率) 耐震化された浄水施設能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・基幹施設耐震化事業			広郷浄水場の補強工事がH24年度完了し、目標値に達した。		
			実績		目標			
			H25	H26	H26			
			95.4%	95.4%	93.1%			
	他の構造物については順次耐震診断を実施し、耐震性の低い施設は耐震化に向けた検討を行います。	数値目標(ポンプ場耐震化率) 耐震化されたポンプ場能力の割合(耐震性のある施設能力/全施設能力)	・その他施設耐震化事業 中区配水池耐震診断調査業務委託			配水池の耐震診断を優先しており、ポンプ場耐震化率については目標値に達していない。	4	
			実績		目標			
			H25	H26	H26			
			84.9%	84.9%	92.9%			
	数値目標(配水池耐震化率) 耐震化された配水池容量の割合(耐震性のある配水池容量/全配水池容量)	目標準値に達している。			H27高区、緑ヶ丘配水池耐震診断。			
		実績		目標				
H25		H26	H26					
27.1%		27.5%	25.9%					
管路の計画的な耐震化	基幹管路については優先的に、他の管路についても更新と併せ積極的に耐震化に取り組みます。 数値目標(水道管路耐震化率) 耐震化された水道管路の割合(耐震管延長/管路総延長)	・管路耐震化事業 ダクタイル鋳鉄管(GX、NS形) 1,702.0 m ポリエチレン管(PE) 277.0 m 計 1,979.0 m			送配水管更新費に計上			
		実績		目標			計画どおり推移している。 老朽管更新時に併せて口径 150mm以上の管は耐震管を採用。	
		H25	H26	H26				
		3.5%	3.7%	3.4%				
基幹管路の複数化	北見自治区の9割近くを受け持つ広郷浄水場～三輪ポンプ場までの2系統化工事を実施します。 その他の基幹管路の2系統化事業を検討します。	・平成23年度事業完了 事業年度 H22～H23 総事業費 1,353,918 千円 150～800 L=2,771.7m						
		・老朽管の布設替えに重点をおき事業を進めているため、現時点では未実施。						
浄水系統間、配水系統間の相互融通	緊急貯水水槽整備計画の策定を行います。 金華浄水系統～広郷浄水系統連絡管工事を実施します。	・後期計画で実施予定事業						
緊急時における応急給水容量の確保	緊急貯水水槽整備工事を検討、実施します。	・後期計画で実施予定事業						
応急給水拠点、運搬給水拠点の整備	応急給水拠点、運搬給水拠点整備計画の策定を行います。 配水施設設備に併せた拠点整備に取り組みます。	・給水拠点となる配水池の改築・更新時に併せて整備を実施する予定						
災害復旧体制の充実と関連機関との連携	災害関連マニュアルの整備や緊急資機材の備蓄、水処理情報の一元化や監視カメラの設置及びマッピングシステムの精度向上に取り組みます。	・マッピングシステムデータ更新等				12		
お客様サービスの向上と経営基盤の強化								
有収率の向上	有収率、有効率の向上は事業経営上においても重要課題であるため、継続的に取り組みます。 数値目標(有収率) 料金徴収の対象となる水量の割合(有収水量/給水量) 数値目標(有効率) 有効に使用された水量の割合(有効水量/給水量) 有効水量:有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量	・有収率の向上 老朽管工事・漏水調査費・修繕工事費 北見市水道事業の漏水防止基本計画に基づき実施			前年度と比較すると率は若干減少したが、目標値達成に向け、今後も漏水防止基本計画に則った取組みを進める。	41		
		実績		目標				
		H25	H26	H26				
		有収率	78.4%	77.8%			80.8%	
有効率	84.7%	85.0%	90.0%					

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績 (H26)	実績額 (百万円)										
安全で快適な生活環境の確保	計画的な施設整備と未普及地域の解消	未普及地域の方々への意向調査を行い、費用対効果も検討し、普及率の向上に取り組みます。 数値目標 (下水道普及率) 下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	・汚水処理施設整備事業 汚水管整備 150～250mm L = 545.32 m 公共汚水桝の新設	140										
			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">計画どおりに推移している</td> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> <tr> <td>99.7%</td> <td>99.7%</td> <td>99.5%</td> </tr> </table>	実績		目標	計画どおりに推移している	H25	H26	H26	99.7%	99.7%	99.5%	
			実績		目標	計画どおりに推移している								
	H25	H26	H26											
	99.7%	99.7%	99.5%											
	下水道法により義務づけられている分流化整備事業を実施します。 数値目標 (合流式下水道改善率) 合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/合流式下水道整備面積)	・緊急合流改善事業 事後評価	9											
	下水道の利用促進	水洗化率の向上に向けて継続的に啓発活動を行います。	・未水洗家屋の個別訪問を継続的に行った。 対象件数 853件 訪問件数 111件											
	汚泥等の有効利用	下水汚泥については、H26までに全量を有効利用するための検討や施設整備を行い、また消化ガスについても利用の検討をします。	・北見市浄化センター汚泥脱水機更新工事 ボイラー及び排熱回収マイクロガスタービンは長寿命化計画策定時にH30供用開始予定に見直しを行った。	166										
	建設副産物利用の促進	産業廃棄物の削減やコスト縮減につながる取り組みとして、再生材料の使用や施工方法の検討を継続的に取り組みます。	・舗装復旧にあたり、アスファルト再生合材(50%)を利用 ・取り壊した既設の舗装合材は、再資源化プラントにおいて処理											
	老朽化施設の計画的な更新・延命化	各自治区処理場と北見自治区管渠のデータベース化に取り組みます。 長寿命化計画の策定を行います。	・北見・留辺蘂・常呂は、H23までに完了。 ・端野町下水道管理センターは、更新計画等策定時にあわせて実施予定											
・下水道管路長寿命化計画策定事業 管渠内カメラ調査 L=6,719.2m ・長寿命化計画策定事業 北見・常呂処理場～H24策定済み 留辺蘂処理場～H28策定予定			32											
長寿命化対策・改築更新事業を実施します。		・管路改築事業 高栄・青葉地区改築工事 L=485.97m	116											
		・改築更新事業 北見浄化センター機械・電気設備更新工事 (濃縮タンク汚泥掻寄機他更新) 常呂終末処理場機械・電気設備更新工事(非常用発電機設置)	486											
災害等に強い上下水道の確立	施設の計画的な耐震化	耐震診断の実施、基本計画の策定を行います。	・処理施設耐震化事業 耐震診断実施 北見市浄化センターの躯体更新工事予定施設以外は完了											
		耐震診断の結果と改築更新計画に合わせた耐震化に取り組みます。 数値目標 (処理場の耐震化率) 耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	・処理施設耐震化事業 北見市浄化センター管理棟耐震化工事 (H25年度契約H26年度繰越事業)	47										
	管路の計画的な耐震化	耐震化計画の策定に取り組みます。 長寿命化対策や改築更新計画に併せた耐震化に取り組みます。 数値目標 (重要な下水幹線等耐震化率) 耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な幹線等延長)	・H24、H25に下水道管渠長寿命化計画策定 ・管路耐震化事業 長寿命化対策と合わせて実施(高栄・青葉地区改築)											
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定</td> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> <tr> <td>8.0%</td> <td>8.5%</td> <td>9.0%</td> </tr> </table>	実績		目標	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定	H25	H26	H26	8.0%	8.5%	9.0%		
実績		目標	策定した長寿命化計画・基礎調査を基に、H26以降事業を実施する予定											
H25	H26	H26												
8.0%	8.5%	9.0%												
浸水対策の促進	大雨の影響を受けやすい地域から優先的に雨水管整備に取り組みます。 数値目標 (雨水面積整備率) 雨水整備の計画面積に対する浸水対策済み面積割合 (雨水整備面積/公共下水道事業認可区域面積)	・雨水管整備事業 雨水管整備 250～2,300mm L = 1,965.88m	419											
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <td rowspan="3">計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。</td> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> <tr> <td>58.2%</td> <td>60.4%</td> <td>55.5%</td> </tr> </table>	実績		目標	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。	H25	H26	H26	58.2%	60.4%	55.5%		
実績		目標	計画どおり推移している 道路整備等と併せて効率的に整備を実施している。											
H25	H26	H26												
58.2%	60.4%	55.5%												

基本目標	主要施策	事業の内容等	取り組み実績(H26)	実績額 (百万円)						
経営	お客様ニーズの把握と対策	アンケート調査を継続的に実施し、データの蓄積と分析により、お客様サービスの向上に取り組みます。 数値目標(アンケート情報収集割合) 調査対象とした調査票送付件数に対する回答件数の割合(回答件数/送付件数)	無作為に抽出した2,000件を対象にアンケート調査を実施し、お客様のニーズの把握のためのデータ収集を行った。							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>36.7%</td> <td>50.0%</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	H25	H26	H26
実績		目標								
H25	H26	H26								
-	36.7%	50.0%								
営業	広報活動の充実	各種広報活動を充実させることにより、事業経営についてお客様のご理解と信頼を得るよう取り組みます。 数値目標(上下水道事業に係る情報の提供度) 広報誌などによる利用者への情報提供の割合(広報誌等掲載回数)	上下水道事業にかかる予算・決算、施設整備の状況、断水・事故情報、お客様が行う届出や収納窓口に関する事など、お客様が必要とする情報や「水道週間」、「下水道の日」についての周知を広報誌及び北見市のホームページ・フェイスブック等により実施しました。また、平成27年4月1日の「上下水道局」への名称変更に向けてお客様へ周知するとともに、広報誌への掲載、ホームページの改善に取り組みました。	1						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目標</th> <th rowspan="2">広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。</th> </tr> <tr> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		実績		目標	広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。	H25	H26
実績		目標	広報誌における特集記事は年間2回掲載。その他イベント等に合わせて随時掲載した。							
H25	H26	H26								
4	3	3								
盤	組織・機構・業務の効率化	継続的に組織・機構・業務を見直すことにより効率的な企業経営に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 業務分担等について常に改善点がないか見直し、効率的な経営に努めた。 料金センター業務について、平成27年度より「上下水道料金センター」を開設し、包括的な業務委託を行うことを決定して実施に向けた事務を進めました。 							
			<p>「北見市上下水道ビジョン」に基づき予算編成を行い執行した。 平成26年度より、新会計基準を適用したことにより、新会計基準移行時に計上が義務付けられた引当金などを計上した結果、水道事業で、226,857,318円の当年度純損失、下水道事業で、222,667,711円の当年度純利益となった。</p>							
の	適正な事業水準に応じた料金収入の確保	料金及び会計方式の統一により、負担の公平性を図り将来の事業経営の安定を目指します。	<p>(財政状況の開示・料金水準の見直し)</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政状況の開示 広報5月号(予算)、広報11月号(決算)にて開示。また、ホームページに経営情報として、各種資料を掲載した。 料金水準の見直し 10月より、下水道使用料を改定しました。(改定率3.9%) 水道料金は現状維持 							
			<p>(収納率向上に向けた取り組み)</p> <p>下水道受益者分担・負担金の滞納者に対しては、これまで督促・催告で徴収を行ってきましたが、H26年度より、滞納処分(差押)を前提とした警告を強調した差押予告書を送付することとしました。</p>							
化と	職員研修の充実と技術の継承	安定的に事業を継続できるよう、研修制度の充実や、技術の継承に取り組みます。	北見市企業局職員研修基本計画に基づいた「平成26年度 北見市企業局研修計画」を策定し、本計画の各研修メニューに基づいた、全体・専門別及び外部研修を実施しました。	1						

3. 数値目標一覧

基本目標1. 安全で快適な生活環境の確保

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績数値						目標	
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H26	H31
1-3- 水道普及率	水道水を利用している人の割合 (給水人口/行政区域内人口)	94.2%	93.5%	93.9%	93.8%	93.9%	94.0%	94.3%	96.5%	98.6%
1-3- 下水道普及率	下水道・漁業集落排水が利用可能な人の割合 (処理区域内人口/認可区域内人口)	99.5%	99.5%	99.6%	99.6%	99.7%	99.7%	99.7%	99.5%	99.8%
1-3- 合流式下水道改善率	合流式下水道改善率 (分流式下水道並み整備面積/ 合流式下水道整備面積)	71.7%	77.0%	81.7%	88.5%	95.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

基本目標2. 災害等に強い上下水道の確立

指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績数値						目標	
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H26	H31
2-1- 浄水場耐震化率	耐震化された浄水施設能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	7.0%	13.5%	13.5%	13.5%	95.4%	95.4%	95.4%	93.1%	95.7%
2-1- ポンプ場耐震化率	耐震化されたポンプ場能力の割合 (耐震性のある施設能力/ 全施設能力)	29.6%	29.6%	29.6%	29.6%	84.9%	84.9%	84.9%	92.9%	94.0%
2-1- 配水池耐震化率	耐震化された配水池容量の割合 (耐震性のある配水池容量/ 全配水池容量)	9.8%	26.9%	26.9%	26.9%	27.1%	27.1%	27.5%	25.9%	52.9%
2-1- 水道管路耐震化率	耐震化された水道管路の割合 (耐震管延長/管路総延長)	0.5%	1.3%	1.6%	2.2%	3.3%	3.5%	3.7%	3.4%	6.1%
2-1- 処理場の耐震化率	耐震化された処理場の構造物割合 (耐震性のある構造物数/構造物数)	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	13.8%	25.9%	24.1%	32.2%
2-1- 重要な下水幹線等の耐震化率	耐震化された重要な下水幹線等の割合 (耐震管延長/重要な 幹線等延長)	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.5%	9.0%	10.0%
2-1- 雨水面積整備率	雨水整備の計画面積に対する浸水 対策済みの面積割合 (雨水整備面積/公共下水道 事業認可区域面積)	54.9%	55.6%	55.8%	56.8%	57.7%	58.2%	60.4%	55.5%	61.2%

基本目標3. お客様サービスの向上と経営基盤の強化

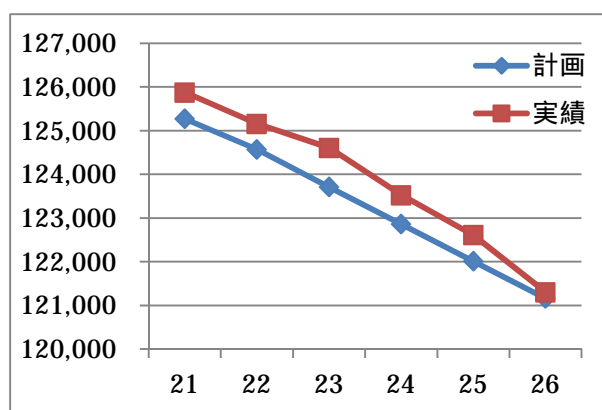
指標名	指標の持つ意味 (算出式)	策定時 H20	実績数値						目標	
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H26	H31
3-1- アンケート情報収集割合	アンケート調査依頼数に対する回答 数の割合 (アンケート回答数/調査依頼数)	-	48.5%	-	-	-	-	36.7%	50.0%	50.0%
3-1- 上下水道事業に係る情報の提供度	広報誌等掲載回数 (年度中の掲載回数)	2回	2回	2回	2回	4回	4回	3回	3回	4回
3-2- 有収率	料金徴収の対象となる水量の割合 (有収水量/給水量)	76.9%	76.5%	71.7%	77.2%	77.4%	78.4%	77.8%	80.8%	84.4%
3-2- 有効率	有効に使用された水量の割合 (有効水量/給水量) <small>有効水量:有収水量に洗管等の事業用水量を加えた水量</small>	83.0%	82.4%	77.4%	83.4%	84.0%	84.7%	85.0%	90.0%	90.0%

4. 財政収支見通し

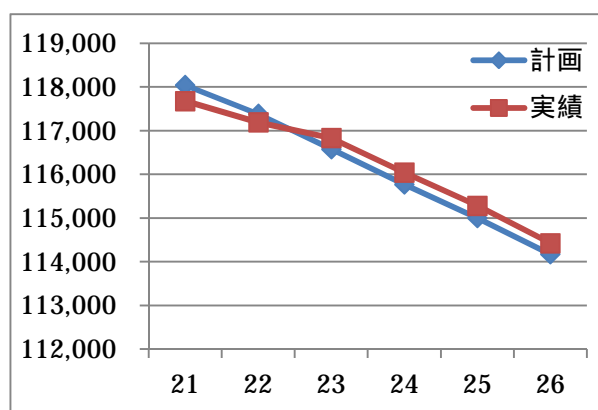
(1) 水需要量の状況

年 度		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
行政区域内 人口 (人)	計画	125,270	124,570	123,710	122,860	122,010	121,160
	実績	125,876	125,158	124,607	123,525	122,613	121,303
給水人口 (人)	計画	118,040	117,380	116,580	115,770	115,000	114,170
	実績	117,678	117,191	116,830	116,040	115,283	114,425
給水戸数 (戸)	計画	65,900	65,890	65,820	65,750	65,700	65,260
	実績	66,290	66,272	66,580	67,012	67,242	67,308
有収水量 (m ³ /日)	計画	33,325	33,132	32,914	32,694	32,479	32,256
	実績	33,102	31,884	33,056	32,955	32,498	31,950

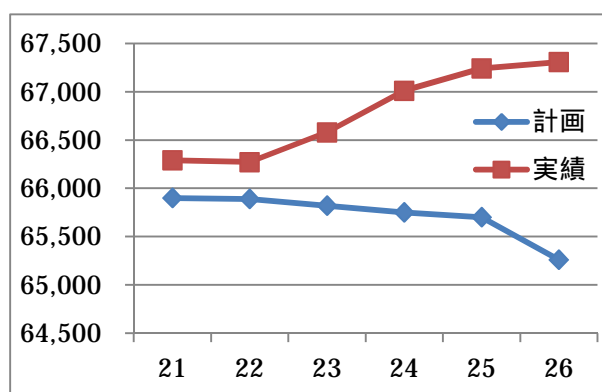
行政区域内人口 (人)



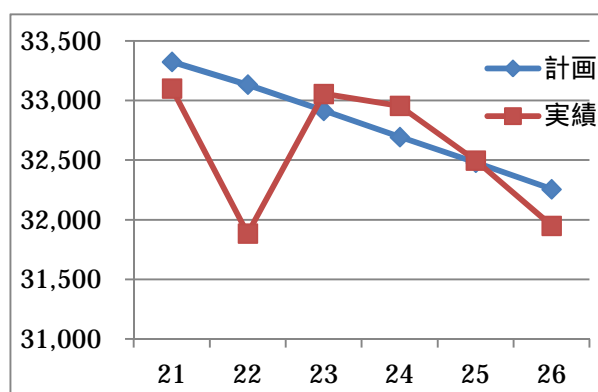
給水人口 (人)



給水戸数 (戸)



水道有収水量 (m³/日)



有収水量は、22 年度において隔月検針・徴収の実施に伴い大幅に減となっております。23～25 年度の水量は、ほぼ計画どおりに推移していましたが、平成 26 年度は前年度と比べ 1.7%の減となり水需要量は減少傾向であります。

有収水量 : 料金徴収の対象となった水量

(2) 財政収支見通しと決算

水道事業

(単位：百万円)

区 分	26 年度 (収支見通し)	26 年度 (決算)	
受入資金 (A)	4,131	4,250	119
うち料金収入	2,474	2,345	- 129
支払資金 (B)	4,116	3,885	- 231
うち建設改良費	1,110	1,490	380
収支差引(C)=(A)-(B)	15	365	350
資金残高(C)+前年度	1,529	3,064	1,535

下水道事業

(単位：百万円)

区 分	26 年度 (収支見通し)	26 年度 (決算)	
受入資金 (A)	6,589	6,367	- 222
うち料金収入	1,884	1,860	- 24
支払資金 (B)	6,582	5,958	- 624
うち建設改良費	1,737	1,512	- 225
収支差引(C)=(A)-(B)	7	409	402
資金残高(C)+前年度	- 2,892	- 1,586	1,306

水道事業

受入資金 (A) では、建設改良費が老朽管更新等の一部事業を前倒ししたことにより国補助金等が計画を上回りました。

支払資金 (B) では、建設改良費が計画を上回る実施となりましたが、低金利に伴う支払利息の減及び人件費・物件費等が一定程度縮減できたことにより計画を下回りました。

この結果、資金残高 (C) が計画に比べ 1,535 百万円上回り、必要な資金の確保ができました。

下水道事業

処理場等施設の更新が計画よりやや遅れており、建設事業費に係る受入資金 (A) 支払資金 (B) がともに計画より下回りました。

料金収入が計画をやや下回りましたが、支払資金 (B) のうち低金利に伴う支払利息の減及び人件費・物件費等が一定程度縮減できました。

この結果、資金残高 (C) が計画に比べ 1,306 百万円資金不足が減少しました。

このように、平成 26 年度は、両事業ともに計画をやや上回る結果となりましたが、今後は、人口減少等の影響から料金収入の減少が予想される中で、災害対策や老朽管の更新などの対応が課題となりますが、今後も、上下水道ビジョンの実現に向けて、経営状況等を勘案しながら効率的に事業を実施し、安全・安心で持続した水循環の構築を目指してまいります。

参考：＜財政収支の見通し、計画・実績＞

水道事業
計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	6,127	4,463	4,077	4,289	4,138	4,131
うち料金収入	2,237	2,323	2,314	2,401	2,392	2,474
支払資金 (B)	6,234	4,198	3,964	4,090	4,064	4,116
うち建設改良費	3,647	1,488	1,225	1,336	1,142	1,110
収支差引 (C) = (A) - (B)	-107	265	113	199	74	15
資金残高 (C)+(前年度)	863	1,128	1,241	1,440	1,514	1,529

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	5,859	4,244	4,867	5,066	4,327	4,250
うち料金収入	2,199	2,142	2,281	2,305	2,339	2,345
支払資金 (B)	5,790	3,927	4,489	4,649	3,779	3,885
うち建設改良費	3,405	1,552	2,185	1,983	1,523	1,490
収支差引 (C) = (A) - (B)	69	317	378	417	548	365
資金残高 (C)+(前年度)	1,039	1,356	1,734	2,151	2,699	3,064

下水道事業

計画

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	10,702	7,531	7,914	7,262	7,587	6,589
うち料金収入	1,732	1,928	1,918	1,907	1,897	1,884
支払資金 (B)	10,797	7,349	7,735	7,143	7,508	6,582
うち建設改良費	2,386	2,671	3,017	2,457	2,770	1,737
収支差引 (C) = (A) - (B)	-95	182	179	119	79	7
資金残高 (C)+(前年度)	-3,458	-3,276	-3,097	-2,978	-2,899	-2,892

実績

(単位：百万円)

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度
受入資金 (A)	9,449	7,507	7,656	7,852	6,652	6,367
うち料金収入	1,706	1,710	1,903	1,891	1,865	1,860
支払資金 (B)	9,448	7,322	7,281	7,463	6,235	5,958
うち建設改良費	2,218	2,771	2,722	2,536	1,762	1,512
収支差引 (C) = (A) - (B)	1	185	375	389	417	409
資金残高 (C)+(前年度)	-3,361	-3,176	-2,801	2,412	-1,995	-1,586